

平成23年2月 和歌山県議会定例会会議録 抜粋
第6号（長坂隆司議員の一般質問への知事答弁）

次に、関西広域連合と県の政策推進についてでございます。

関西広域連合では、独自の組織として府県知事で構成する広域連合委員会を設置し、合議による運営を行うこととしております。委員会においては、重要事項や今後の方針を全会一致で決定していくこととなりますので、私も委員として、本県の意見や提案をしっかりと行っていくとともに、副広域連合長としての調整役も果たしていきたいと考えております。

また、委員会で大筋が決まると、各府県知事が、担当する分野ごとの執行責任を担い、事業の立案から実施までを行います。担当府県以外の府県では、事業担当の幹部が広域連合の参与として兼務しておりまして、事業の立案段階から各府県の意見の反映や、広域連合の事業と府県事業のマッチングの実施などを行うこととなっております。

平成23年度から関西広域連合が本格的に活動していきますので、このような仕組みを十分活用して、広域連合が行う観光や防災などの分野における事業等が本県の施策や事業との連携のとれたものとなるようにしていきたいと考えております。